

今月の新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を
一部紹介します。

ここがわからん浄土真宗 大法輪閣編集部 編/大法輪閣(188-ココガ)	刺し子の愉しみ 日本文芸社 編/日本文芸社(594-サシコ)
腐敗と格差の中国史 岡本 隆司 著/NHK出版(222-オカモ)	レオナルド・ダ・ヴィンチを旅する 池上 英洋 監修/平凡社(702-レオナ)
東北ゆったり山歩き 木暮人倶楽部森林 山歩きの会 監修/メイツ出版(291.2-トウホ)	掛軸 藤井 弘之 監修/メイツ出版(724-カケジ)
宅地崩壊 釜井 俊孝 著/NHK出版(369-カマイ)	ボダ子 赤松 利市 著/新潮社(F-アカマ)
いやでも数学が面白くなる 志村 史夫 著/講談社(410-シムラ)	百花 川村 元気 著/文藝春秋(F-カワム)
富士山はどうしてそこにあるのか 山崎 晴雄 著/NHK出版(455-ヤマザ)	目撃 西村 健 著/講談社(F-ニシム)
じっくり観察特徴がわかるコケ図鑑 大石 善隆 著/ナツメ社(475-オオイ)	限界病院 久間 十義 著/新潮社(F-ヒサマ)
レアメタル・レアアースの驚くべき能力 齋藤 勝裕 著/シーアンドアール研究所(565-サイト)	女形警部 安東 能明 著/実業之日本社(PF-アンド)

浪漫紀行 福島

吾妻山浄土平には、日本一高い場所(標高1600m)に位置する公開天文台があります。周辺の空気が澄んでいて、星空がきれいに見えるスターウォッチングポイントです。直径5.5mのドームには口径40cmの反射望遠鏡を備え、さらに太陽望遠鏡も設置されています。1Fのテレビモニターでは、太陽望遠鏡で撮影された「プロミネンス」「黒点」などがリアルタイムで観察できます。展示コーナーでは、1975年から10年間開催されたイベント「星空への招待」で世話人(犬)代表をつとめた「チロ」像と、「チロアルバム」もあります。毎年冬期休暇しており、今年一度は5月31日に開館見込みとなりましたが、吾妻山の噴火警戒レベル引き上げのため、再び未定となりました。再開館が待たれるところです。

参考文献:『星になったチロ』藤井 旭 著/ポプラ社(K916-フジイ)
浄土平天文台公式ホームページ

クイズの答え

1 (春) — B、2 (夏) — C、3 (冬) — A

※秋には大三角形はありませんが、アンドロメダ座・ペガサス座(3か所)から構成される、大四辺形とよばれるものがあります。

図書館カレンダー 7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

印は休館日

2019年7月1日発行

編集: 福島市西口ライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町1-20
TEL 024-525-4023
発行: 福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町1-1
TEL 024-531-6551

ホームページ:
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/tosyo-kanri/kanko/toshokan/>
ふくしまウェブ携帯版アドレス:
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/mobile>

福島市西口ライブラリー広報



西口ライフ発信

2019年
7月号

今月の新着本案内

『カクタスハンドブック』

山本 規昭 著/双葉社
(627-ヤマモ)

野生のサボテン約300種類を栽培難易度とともに、解説。季節ごとの管理や植え替え方法なども、わかりやすく伝授します。さらに、サボテン界の偉人や名著まで網羅した、サボテンの魅力が詰まった本です。



『ことばで社会をつなぐ仕事』

義永 美央子ほか 編著/凡人社
(810-コトバ)

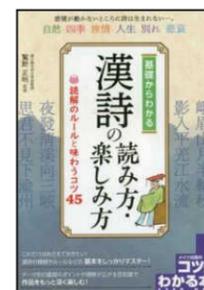
日本語を教える仕事に興味がある、全ての人に向けたガイドブックです。必要な資格について、待遇の実際など経験者たちが自らのキャリアを詳しく語ります。日本語教育への多様な関わり方が見えてくる1冊です。



『基礎からわかる漢詩の読み方・楽しみ方』

鷲野 正明 監修/メイツ出版(921-キノカ)

漢詩は古来より伝わる、漢字のみで心情を表現した詩です。本書では、歴史や基本的なルールだけでなく、鑑賞のポイントや豆知識なども紹介。普段は馴染みのないという方も、漢詩に触れるきっかけとして、手に取ってみてはいかがでしょうか。



～「文学講座 宮沢賢治の世界」開催のお知らせ～

日本近現代文学を研究されている福島大学の高橋由貴先生を講師にお迎えし、宮沢賢治作品の奥深さに迫ります。

日時: 8月29日(木) 午後2時～4時

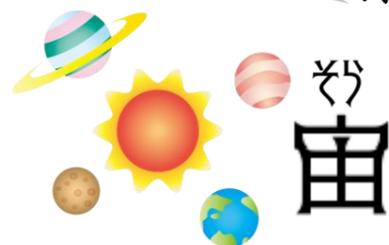
場所: コラッセふくしま3階 302会議室

定員: 大人25名(要申込)

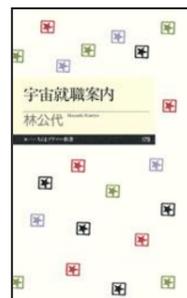
参加費: 無料

申込方法: 7月20日(土)9時45分から申込受付。(電話受付可)

※お申込み・お問い合わせ・・・西口ライブラリー TEL 525-4023



～見上げた先にはなにがある？～



『宇宙就職案内』

林 公代 著/筑摩書房
(S538-ハヤシ)

宇宙と関係のある職業といえば、天文学者や宇宙飛行士が思い浮かびます。実際にはどのような仕事なのでしょう？ 謎に包まれた仕事内容と、今後も拡大する宇宙に関連する仕事を紹介します。



『星空の見方がわかる本』

縣 秀彦 著/学研プラス
(443-アガタ)

星座は季節によって変化します。本書では、主な星座とその見つけ方を季節ごとによりわかりやすく解説。巻末には、全国の主な天文台・プラネタリウムの一覧があります。日常を忘れ、星空を楽しんでみませんか。



『火星の人』 アンディ・ウィアー 著 小野田 和子 訳/早川書房(P933-ウイア)

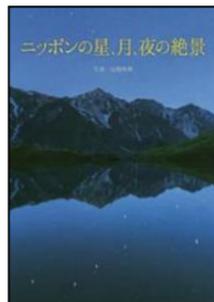
不慮の事故により、火星に取り残されてしまった宇宙飛行士。酸素、食料、そして孤独と問題は山積みだが、彼は希望を捨てていなかった。広大な宇宙を舞台に、一人の男の戦いを描いたハード SF 小説です。



『妙なる技の乙女たち』

小川 一水 著/ポプラ社
(F-オガワ)

10時間で宇宙へ行ける2050年、赤道直下の島では宇宙航空産業がひしめきあっていた。そんな中で、工業製品デザイナーや水上タクシーの艇長など、妙なる技の乙女たちは今日も仕事に真摯に向き合う。近未来が舞台のオムニバス短篇集。



『ニッポンの星、月、夜の絶景』

山梨 将典 写真
パイインターナショナル
(291.0-ヤマナ)

満天の星の下、山々や高原、棚田などを撮影した写真集です。時期や天気によっては見ることが難しい星空と風景が、あますことなく掲載されています。

県内では五色沼や大内宿などが取り上げられ、撮影地の情報も紹介されています。

瀧羽 麻子
(たきわ あさこ)

ふたり姉妹

祥伝社(F-タキワ)



姉の聡美は真面目な性格で、東京に住むキャリアウーマン。妹の愛美はマイペースな性格で、実家に暮らし結婚を控えている。ある日突然実家に帰ってきた聡美をきっかけに、二人はしばらくの間、生活を交換することに。正反対の姉妹は、お互いの生活を通して、今まで見えなかったものが見えてきて…。

1981年、兵庫県生まれ。2007年『うさぎパン』で第2回ダ・ヴィンチ文学賞大賞を受賞し、デビュー。2019年、児童書『たまねぎとはちみつ』で第6回産経児童出版文化賞・フジテレビ賞を受賞。現在も精力的に執筆を続けている。

～その他の作品～

『はれのち、ブーケ』(2010年)
『失恋天国』(2015年)
『うちのレシピ』(2019年)

など

クイズ解かっせ

夜空に輝く星たち。四季それぞれに楽しませてくれます。その中で、春・夏・冬には3つの星座を結んでできる大三角形があります。それらを構成する星座の組み合わせと季節を正しく結んで下さい。

- | | |
|-------|----------------------|
| 1 : 春 | A : オリオン座・こいぬ座・おおいぬ座 |
| 2 : 夏 | B : うしかい座・しし座・おとめ座 |
| 3 : 冬 | C : はくちょう座・わし座・こと座 |



※答えは最後のページ